

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	作曲・作詞3 (オリジナル作品)	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	山田わたる 西山毅 栗山宣幸 杉山 泰	実務経験の有無・職種	有、ミュージシャン、作曲家		
<b>学習目的</b>					
この科目を履修する学生は、日本工学院専門学校ミュージックアーティスト科の学生同士で結成したバンドで、基本オリジナルの作詞・作曲による作品を演奏し、学内、学外のイベント、オーディション等に出演する準備のため、より高い演奏力、パフォーマンス、バンドアレンジの向上を目指す。経験と知識の豊富な講師陣により、アドバイスを受け、確実に毎回課題をクリアすることにより、自分達だけでは成し得ない成長のスピードを講師と共に実現していく。					
<b>到達目標</b>					
自分たちのオリジナル作品が、実際のようにオーディエンスに受け取られているのか？何が自分たちの強みであるのか？自分たちでは気付けないことを、講師陣と共に考え、作品を進化、改善していく。オリジナル作品が完成したら、それを様々なシチュエーションにおいて、常にベストなパフォーマンスが実現できるよう、楽器のサウンド、本番前のマインドセット、など、細かい所までプロフェッショナルな準備とは何かを体得し、卒業後も様々なチャンスに自信を持って臨めるようになることを目標とする。					
<b>授業概要</b>					
この授業では、本番に非常に近い環境で、講師陣のアドバイスを受けることができるので、パフォーマンスの十分な準備が必要と思われます。アドバイスを受けた後は、すぐに各スタジオに入って、課題に取り組むことが効果的で望ましいと思われます。					
<b>注意点</b>					
楽器のスキルを上達させるには、日々の反復練習が必須である。授業に参加するにあたり、前回出された課題は確実に弾き得るようにして、授業に望むこと。日々の練習なくして、技術の向上はありません。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
<b>評価方法</b>	<b>種別</b>	<b>割合</b>	<b>備 考</b>		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画 (1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	グループ (バンド) 作り	授業を履修する学生全員がバンドに属している状態を実現する			
2回	バンドミーティング	オリジナル曲作成、方向性などの話し合い			
3回	バンドミーティング (アレンジ)	楽曲のアレンジ、構成の確認			
4回	ステージ実習 1	オリジナル曲をステージ上で演奏する			
5回	ステージ実習 2	前回指摘された課題をクリアする			
6回	ステージ実習 3	課題のクリアと方向性の話し合い			
7回	ステージ実習 4	中間試験のポイントの確認			
8回	中間試験	オリジナル曲の完成系をステージで披露			
9回	ステージ実習 5	新しいオリジナル曲を演奏する			
10回	ステージ実習 6	前回指摘された課題をクリアする			
11回	ステージ実習 7	課題のクリアと方向性の話し合い			
12回	ステージ実習 8	パフォーマンスチェック ステージアクション 衣装 などのチェック			
13回	ステージ実習 9	今回のオリジナル曲の最終チェック			
14回	期末テスト対策	オリジナル曲 2曲のチェック 期末テストに向けての対策			
15回	期末テスト	2曲のオリジナル曲をステージで演奏			